

大草谷津田いきものの里 自然観察会

春の香りを楽しもう

松本美千代(千葉市)

日 時：2023年4月16日(日)10時30分～12時 天気：曇りのち晴れ

参加者：17名(大人8名、子ども9名)、担当指導員：岡田 戸村 松本

観察会の下見は早々と4月6日に行った。それでも植物は半月ほど早く、春というよりも初夏のかおり？ 装いであった。受付にフジの花を置く。林縁に咲いているが、近くで見られないので担当者の一人が持ってきてくれた。大人も子どもも喜んでさわり、香りを楽しんでいた。

3グループに分けていたが遅れている家族を待つ指導員を残し、全グループ一緒に進むことにした。

① 広場での香り物(ヨモギ・ノビル・キュウリグサ・フキ)

カラスノエンドウとスズメノエンドウの花の違いを観察した。

ノイバラの茎にいるたくさんのアブラムシとナミテントウの幼虫を観察した。

② 竹林・元杉林での香り物(ミツバ・ドクダミ・ニワトコ)

シロダモのフワフワの葉をさわった。

③ 林縁・畔での香り物(ショウブ・ヤブニッケイ・ヤマコウバシ・ウワミズザクラ・ウコギ・サンショウ)

めじろんばに来るとシュレーゲルアオガエルの声が聞こえる。声はするけれど姿が見えないかと思い、写真を用意してきたが、子ども達のおかげで卵塊とペアのシュレーゲルをみる事ができた。

ここまで歩いてくると小さな子は疲れてしまったようだ。それでも指導員がサンショウの葉を掌に乗せて叩くと良い香りがすると教えると、元気に叩いていた。

アカガエルのオタマジャクシがいる田んぼの中を熱心に見ていた子供がタイコウチを見つけた。昨年3月に東邦大の学生が作業中に初めて大草の田んぼでタイコウチを見つけた。今年見たのは初めてだった。(タイコウチをタガメと言ってしまい、保全課の担当者の方に訂正の連絡を入れてもらった・・・)

まとめで好きな香りの人気投票をした。ミツバ・ショウブ・サンショウノビル・ヤブニッケイが同じくらい人気があった。クロモジが良いという男の子もいた。

朝の受付時、あるお母さんにボランティアはやっていないのですか？と聞かれた。前回観察会で種もみを蒔いたのが、親子共々楽しかったようだ。また、子どもに「畔を歩くと壊れてと水漏れするのでだめよ」と注意していたお母さんもいて、稲づくりに興味を持っている人がいると感じた。

3月の観察で種もみを蒔いた苗床→



シュレーゲル卵塊



ショウブの花



昨年のタイコウチ

